

# 取組事例 地域の観光資源を活用した回遊・交流の仕組みづくり

(安平町)

安平町では、「道の駅」を拠点とした「回遊・交流ステーション形成事業」を展開し、町全体を回遊させる仕組みを構築することで、交流・関係人口の拡大に繋げる取組を進めている。

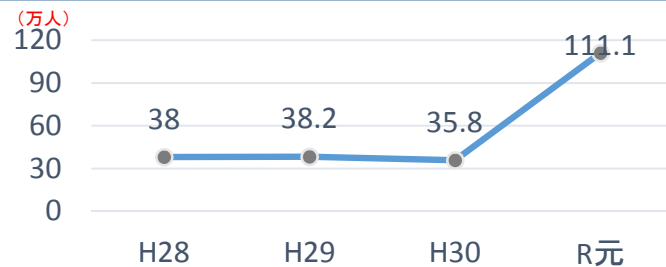
## 関連数値目標・KPI

	基準値 (H25)	実績 (R元)	目標値 (R2)	進捗率 (%)
交流人口数の増	42万人	111.1万人	65万人	170.9%
「道の駅」オープンによる来訪客数	—	87.7万人	50万人	175.4%

## 取組の推進体制

役場のほか、道の駅指定管理者であるあびら観光協会が主体となり、魅力的な道の駅の運営を行う。道の駅あびらD51ステーション生産者協議会、復興ボランティアセンターなど民間団体を中心とした各種イベント実施を行うなど、適切な役割分担の下、官民の連携により取組を効果的に推進。

## 交流人口数の状況



「道の駅」オープンにより交流人口数が大幅に増加

## 取組事例 まちの魅力向上と交流人口の拡大

### 資源活用による交流人口の拡大

#### ○主な取組

- ・道の駅に展示する「蒸気機関車D51 320号機」が日本遺産「炭鉄港」の構成文化財に認定
- ・魅力ある開発商品の販売
- ・外国人観光客向けの多言語イラストマップの作成
- ・通年型復興イベントの開催



#### ○主な成果

- ・当初想定していた人数を上回る来訪者を達成。  
(32万人→87.7万人)
- ・令和2年7月に100万人達成